

玉青館

日本南画界の第一人者、直原玉青氏（名誉市民・平成十七年没）の絵画及び書作品などを中心に所蔵、展示する美術館です。

美術館建設に当たっては、市内在住の医師で、直原作品の収集家でもある滝川弘氏（名誉市民）から建設費用全額の寄附を受け、平成三年八月にオープンしました。

直原氏に関する絵画・書などの美術資料約四百五十点余りの大半は、本人や遺族からの寄附で、このほか、当館にゆかりのある作家たちの洋画・日本画・陶芸品、硯や古墨などの文房具も所蔵しています。



▲常設展

わかまちふるさと資源

特別展「直原玉青善縁コレクション展」高野コレクションから

▽期間 9月22日(土)～11月25日(日)

▽入場料 大人300円

▽入場料 大人300円 円玉青館 ☎36・2314



らくのうこどもギャラリー あすなろ賞

「なにをみているの？うしさん」

北阿万保育所 島津堅斗



4本足と黒いひずめ、2つのお耳とタグ、頭と2つの目、シッポなどが堂々と描かれています。大きなサイズの画用紙を使って、おもいきりのいい作品ができました。

わかまちユネコ

私たちのふるさとの宝物

「淡路人形浄瑠璃」

（財）淡路人形協会

五百年の歴史と伝統を誇る淡路人形浄瑠璃の保存伝承を図るため、昭和五十二年四月、淡路人形協会と淡路人形座が合併し、（財）淡路人形協会を設立しました。

淡路人形座の運営、後継者育成等の事業を行い、国内外への出張公演、全国人形芝居サミット&フェスティバルの主催など伝統芸能を通じ、淡路の文化をアピールし続けています。

【市民へのメッセージ】

財団設立三十周年を迎える今年、ユネスコアジアセンターの「コミュニティにおける無形文化遺産の活性化の優良事例コンテスト」に入賞することができました。人形劇を舞台芸術として最も発展させ、世界中の憧れとなっている人形浄瑠璃の魅力をまず地元の方々を知っていただきたいと思っています。

鶴澤友路師匠をはじめ淡路人形座の座員は、自己の技芸の上達と後継者団体指導にも懸命です。舞台を見て伝統を守る心意気を感じてください。

（財）淡路人形協会

- ◆代表者 中田勝久理事長
- ◆役員等 顧問6人、理事17人、監事2人、評議員23人、淡路人形座員18人、事務局（生涯学習文化振興課内、☎37-3020）



▲淡路人形浄瑠璃「朝顔日記」の公演（淡路人形座）

▶玉青館（松帆西路）